

## 「流言」への対応について：防災士教本より出典

### 1. 「流言」とは

事実の確証なしに語られる情報であり、「根拠のない風説、うわさ」のことである。流言は、悪意、好奇心、恐怖、不安、敵意などの感情と深く関わっており、多くの流言は連鎖的であるとともに「拡散的」であり、情報はねずみ算的に広がっていく。故意に虚偽を述べたてる『嘘』とは異なり、流言の基礎は推測にある。これを伝える人々にはそれが事実であるかどうかを確認しようという動機は少ない。また、流言は人から人へ伝えられるうちに、その情報内容がしだいに歪められ、もとの内容と全く異なってしまいう場合が多い。

### 2. 流言の対処方法

- ①行政やマスコミなど、情報源の信頼できる情報を入手する手段（ラジオ、インターネット、行政窓口など）を複数確保する。
- ②口頭の伝言だけでなく、チェーンメールなど様々な噂や憶測など真偽のほどが確かでないデマや誤報が情報として伝わってくるので、鵜呑みにせず、正しい情報の入手に努め、自らが誤った情報の発信源にならないよう、注意する。